

静岡大学 公開講座 2018年度

| | |
|------------|----|
| 受講にあたって | 3 |
| 公開講座開設一覧 | 4 |
| 講座案内 | |
| 教養を高める | 6 |
| 科学・自然に親しむ | 13 |
| 身体を動かす | 21 |
| その他の大学開放事業 | 23 |
| 各会場へのアクセス | 31 |



しずっぴー



静岡大学

公開講座

静岡大学では、本学の専門的、総合的な教育・研究機能を開放することによって、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978（昭和53）年より実施しています。

静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、県内各地で開催します。

1 対象者

原則として、どなたでも受講できます。ただし、講座により受講対象を限定している場合がありますので、各講座の「対象」の欄をご覧ください。

2 実施会場

会場は、講座によって異なります。各講座の「会場」の欄をご覧ください。なお、会場への交通案内については、31～35ページをご参照ください。

3 申込方法

各講座の「申込方法」の欄をご確認ください。お申込後、受講料の納入方法や会場など、詳細について連絡を差し上げます。なお、それぞれの講座は一部を除き先着順となりますので、定員に達した場合にはお断りすることもあります。予めご了承ください。

4 修了証書の授与

修了された方には静岡大学より修了証書を発行します。

5 お問い合わせについて

講座内容や、その他受講に関するお問い合わせは、各講座の「問合せ」欄に記載されている連絡先をお願いいたします。

| 種別 | 講座名 | 日程 | 会場 | ページ |
|--------|--|--|-------------------------------|-----|
| 教養を高める | 地歌箏曲入門 [全4回] | 6/6、6/20、 7/4、7/18 (いずれも水曜日) | 静岡キャンパス | 6 |
| | 学んで楽しい ～大学で学ぼう～ 【連続講座】 [全3回] | 6/17、10/21、 12/16、 (いずれも日曜日) | 静岡キャンパス | 7 |
| | 学んで楽しい ～大学で学ぼう～ 【公開講演会】 | 10/21 (日) | 静岡キャンパス | 8 |
| | 中高生のための心理学 入門 | 8/21 (火) | 静岡キャンパス | 9 |
| | 市民社会と法 [全5回] | 10/13、11/10、 12/8、1/26、 2/9 (いずれも土曜日) | アイセル21 (静岡 市葵生涯学習セ ンター) | 10 |
| | サンティアゴ巡礼を 学ぶ・楽しむ ～スペイン、フランス、 メキシコのカミーノ～ | 11/3 (土) | あざれあ (静岡県男女共同 参画センター) | 11 |
| | 暮らしを支える 情報活用の最前線 | 11/10 (土) | 浜松キャンパス | 12 |

| 種別 | 講座名 | 日程 | 会場 | ページ |
|-----------|---------------------------------------|--|------------------------|-----|
| 科学・自然に親しむ | 藤枝フィールドの散策と春の雑草観察 | 4/26(木) | 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター | 13 |
| | 私のミカン～ミカンの通年管理教室～ [全5回] | 5/8、7/3、 9/18、11/13、 3/5 (いずれも火曜日) | 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター | 14 |
| | 紅茶作りに挑戦しよう | 7/26(木) | 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター | 15 |
| | 作って学ぶ、工学部の化学実験 | 7/26(木) または 7/28(土) | 浜松キャンパス | 16 |
| | 遺伝子の世界を見てみよう [全2回] | 8/1(水)、2(木) | 静岡キャンパス | 17 |
| | 体験!大学の化学実験 [全2回] | 8/18(土)、19(日) | 静岡キャンパス | 18 |
| | 愛おしさから読み解くくだものの多様性～園芸と民藝の融合～ [全2回] | 8/31、11/30 (いずれも金曜日) | 健康文化交流館「来・て・こ」 | 19 |
| | 静岡大学キャンパスミュージアム公開講座2018 [全5回] | 10/6、10/13、 10/20、10/27、 11/3 (いずれも土曜日) | 静岡キャンパス | 20 |
| 身体を動かす | 安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル(初級編) | 5/19(土) | 静岡キャンパスおよび屋外 | 21 |
| | 安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル(中級編) | 10/7(日) | 屋外(静岡市郊外) | 22 |

地歌箏曲入門

| | |
|-------|--|
| 趣 旨 | 静岡大学には芸術分野で活躍する多才な教員が在籍しています。地歌箏曲演奏家でもある教育学部の長谷川慎氏は古態の三味線研究家としても知られます。江戸時代に始まった「地歌箏曲」は最古の三味線音楽であり、箏と三味線、そして歌、胡弓を使用して演奏されます。今回は、長谷川慎氏の解説と、平成28年度芸術祭新人賞を受賞した静岡県在住の地歌箏曲演奏家・日吉章吾氏との共演を含めた演奏鑑賞を通じて地歌の聴きどころを学び、地歌に用いられる3種類の三味線および箏の音色に親しみ、繊細で深奥な日本の音楽の魅力に触れます。 |
| 日 程 | 6月6日(水)、6月20日(水)、7月4日(水)、7月18日(水) [全4回] 19:00~21:00 |
| 講 師 | 教育学部准教授 長谷川 慎 (地歌箏曲演奏家) 日吉 章吾 (地歌箏曲演奏家) |
| プログラム | 6/6 概論「地歌箏曲とは」・鑑賞「箏組歌」(長谷川) 6/20 鑑賞「三味線本手組歌と長歌物」・地歌三味線のいろいろ(長谷川) 7/4 鑑賞「端歌物と手事物」・「箏のいろいろ」(長谷川・日吉) 7/18 鑑賞「地歌の浄瑠璃とおどけ物」(長谷川・日吉) |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパス 教育学部E棟201教室 ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 20人 |
| 対 象 | 一般市民、学校教員(小・中・高等学校) |
| 申込方法 | メールによりお申し込みください(先着順)。 ✉ kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp ※氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号(携帯電話番号推奨)、受講したい講座名、大学までの交通手段を明記してください。 |
| 申込期間 | 4月2日(月) ~ 5月25日(金) |
| 問 合 せ | 静岡大学教育学部長谷川研究室 ☎054-238-4648 |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

学ばって楽しい —大学で学ぼう—【連続講座】

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。また、日頃の就労生活を支えるためには、余暇活動や生涯学習の充実が必要となります。大学で講義を聴く会を開催することで、学びの環境づくり、講義内容と支援の効果的な方法を提供することができます。 |
| 日 程 | 6月17日(日)、10月21日(日)、12月16日(日) [全3回] 9:30~11:30 |
| 講 師 | 文京学院大学客員教授 松為 信雄(就労問題) NPO法人GreenWork理事長 松矢 勝弘(就労問題) |
| プログラム | 6/17 「学びの仲間づくり」(松矢) 10/21 「働き続けるということ」(松為) 12/16 「働き続けるということ」(松矢) |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパス 大学会館ホール、セミナールーム ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 100人 |
| 対 象 | 知的障害のある方及びその保護者 |
| 申込方法 | FAXによりお申し込みください(先着順)。 〔FAX〕054-209-2888 (静岡市障害者就労研究会 事務局 瀬戸協宛) ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、所属(勤務)先を明記してください。 |
| 申込期間 | 5月21日(月)~6月1日(金) |
| 問 合 せ | 静岡県障害者就労研究会 事務局 瀬戸協 ☎090-2775-6348 |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

学ばって楽しい —大学で学ぼう—【公開講演会】

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。また、日頃の就労生活を支えるためには、余暇活動や生涯学習の充実が必要となります。大学で講義を聴く会を開催することで、学びの環境づくり、講義内容と支援の効果的な方法を提供することができます。 |
| 日 程 | 10月21日(日) 13:00～15:00 |
| 講 師 | 文京学院大学客員教授 松為信雄(就労問題) |
| プログラム | 10/21「これからの就労の在り方と合理的配慮」 |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパス 大学会館ホール、セミナールーム ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 100人 |
| 対 象 | 一般市民 |
| 申込方法 | FAXによりお申し込みください(先着順)。 〔FAX〕054-209-2888 (静岡市障害者就労研究会 事務局 瀬戸協宛) ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、所属(勤務先)を明記してください。 |
| 申込期間 | 5月21日(月)～6月1日(金) |
| 問 合 せ | 静岡県障害者就労研究会 事務局 瀬戸協 ☎090-2775-6348 |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

中高生のための心理学入門

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 心理学は心の働きについて科学的に探究する学問です。一人ひとりの感じ方や考え方、他者とのつながり、心の成長と健康など、一見すると不思議に思えるような現象も、そこには理に合った仕組みがあるものです。実験や調査という手法を用いて心の仕組みを明らかにしていこうとするのが心理学です。中学や高校で心理学を正式に学ぶことはありませんが、誰にも身近な学問のはずです。この講座では、大学で学ぶ心理学の一端を簡単な実験なども交えながら学びます。心理学を学んで実践に役立てていこうという国家資格の公認心理師の養成も始まります。心理学を学ぶことでどのような仕事に役立てていくことができるのかも紹介します。 |
| 日 程 | 8月21日(火) 9:30~12:30 |
| 講 師 | 人文社会科学部教授 笠井 仁(臨床心理学) 人文社会科学部教授 橋本 剛(社会心理学) 人文社会科学部教授 幸田 るみ子(精神医学・臨床心理学) |
| プログラム | 9:30~10:30「心を科学する」(笠井) 10:40~11:30「中高生でも学べる心理学」(橋本) 11:40~12:30「心の専門家とその仕事」(幸田) |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパス 人文社会科学部E棟201教室 ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 120人 |
| 対 象 | 中学生・高校生 |
| 申込方法 | FAX・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 〔FAX〕054-237-3612 〔葉書〕〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、学校名、学年、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレスを明記し、「中高生のための心理学入門」受講希望と記載の上お申し込みください。 |
| 申込期間 | 6月1日(金) ~ 8月10日(金) |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

市民社会と法

| | | |
|-------|---|--|
| 趣 旨 | 市民社会をめぐる様々な法的な問題について、法務研究科、地域法実務実践センターに所属する研究者教員が、それぞれの専門の立場から、一般の方にも分かりやすく解説を行います。講座は連続性、体系性を離れ、1回完結の形で行いますので、受講者が興味のある問題だけを選択して講座に参加することも、また、すべての講座に参加して、市民社会をめぐる様々な法的な問題について、多面的な知識を得ることも可能です。多くの市民の皆様の参加をお待ちしております。 | |
| 日 程 | 10月13日(土)、11月10日(土)、12月8日(土)、1月26日(土)、2月9日(土) [全5回] 13:30~15:30 | |
| 講 師 | 法務研究科特任教授 地域法実務実践センター教授 地域法実務実践センター教授 法務研究科教授 法務研究科教授 | 中村 和夫(労働法) 板倉 美奈子(国際法) 朱 曄(中国法) 根本 猛(憲法) 吉川 真理(刑法) |
| プログラム | 10/13「働き方改革をめぐる」(中村) 11/10「国際社会の諸問題と国際法」(板倉) 12/8 「中国家族法入門」(朱) 1/26 「憲法は何のためにあるか-憲法改正問題をめぐって」(根本) 2/9 「性犯罪と刑法改正」(吉川) | |
| 会 場 | アイセル21(静岡市葵生涯学習センター) ※会場までの地図は、P34の交通案内をご覧ください。 | |
| 受 講 料 | 無料 | |
| 定 員 | 30人 | |
| 対 象 | 一般市民 | |
| 申込方法 | 電話によりお申し込みください(先着順)。 静岡市葵生涯学習センター(アイセル21) 宛 TEL 054-246-6191 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名をご連絡ください。 | |
| 申込期間 | 9月1日(土) ~ 9月30日(日) | |
| 問 合 せ | 静岡市葵生涯学習センター ☎054-246-6191 | |
| 共 催 | 静岡市葵生涯学習センター | |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 | |

サンティアゴ巡礼を学ぶ・楽しむ ～スペイン、フランス、メキシコのカミーノ～

| | | |
|-------|---|---|
| 趣 旨 | 世界遺産となっているサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路(カミーノ・デ・サンティアゴ)についてはテレビなどで目にすることも多く、また実際に歩いてみたいと思う人もいるでしょう。スペイン語でサンティアゴと呼ばれる十二使徒の一人大ヤコブの墓を詣でるサンティアゴ巡礼には、どのような歴史があり、またどういった地域と関わりがあったのでしょうか。サンティアゴ巡礼の起源や発展、スペイン以外の地域への信仰の広がりや文学文化との関係について知識を深めます。 | |
| 日 程 | 11月3日(土) 10:00～16:00 | |
| 講 師 | 立命館大学准教授 人文社会科学部准教授 専修大学教授 人文社会科学部教授 人文社会科学部教授 | 田辺 加恵(スペイン史) 大原 志麻(ヨーロッパ史) 井上 幸孝(メキシコ史) 花方 寿行(ラテンアメリカ文学) 今野 喜和人(比較文学文化) |
| プログラム | 10:00～11:00 「スペイン中世盛期におけるサンティアゴ崇敬と巡礼路の発展」(田辺) 11:00～12:00 「後期中世におけるサンティアゴの衰退とラテンアメリカへの道」(大原) 13:00～14:00 「メキシコのサンティアゴ～先住民のキリスト受容と聖人崇拜」(井上) 14:00～15:00 「スペイン語圏文学におけるサンティアゴ」(花方) 15:00～16:00 「サンティアゴを巡るスピリチュアル・ブームと観光」(今野) | |
| 会 場 | あざれあ 大会議室 ※会場までの地図は、P35の交通案内をご覧ください。 | |
| 受 講 料 | 無料 | |
| 定 員 | 100人 | |
| 対 象 | 一般市民 | |
| 申込方法 | FAX・葉書のいずれかによりお申し込みください。 〔FAX〕 054-237-3612 〔葉書〕 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、(本学学生の場合は所属学部、学籍番号、)郵便番号、住所、電話番号、講座名を明記してください。 | |
| 申込期間 | 6月1日(金)～11月2日(金) | |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 | |

暮らしを支える情報活用の最前線

| | | | |
|-------|--|-------|-------------------------------------|
| 趣 旨 | <p>情報学部は、人間・環境・情報技術が調和する「情報社会」を目指し、2016年度から3学科（情報科学科、行動情報学科、情報社会学科）体制で教育・研究をおこなっています。本公開講座では、各学科の教員が各々の視点より「暮らしを支える情報活用の最前線」についてお話しし、議論します。 「テクノフェスタ in 浜松」に合わせて開催いたします（受講無料）。</p> | | |
| 日 程 | 11月10日（土） 10:25～12:00 | | |
| 講 師 | 所属・職名 | 講師名 | 専門分野 |
| | 情報学部 情報社会学科 教授 | 杉山 岳弘 | コンテンツ・デザイン、コミュニケーションの分析、メディアとコンテンツ |
| | 情報学部 行動情報学科 准教授 | 遊橋 裕泰 | サイバーフィジカル融合社会、集団行動のマネジメント、災害レジリエンス |
| | 情報学部 情報科学科 助教 | 石川 翔吾 | 認知症情報学、ヒューマンインタフェース、発達、感情思考モデル |
| | 情報学部 行動情報学科 教授 | 湯浦 克彦 | 協創的システムデザイン、プレゼンテーション技法、共感分析、社会システム |
| 会 場 | <p>静岡大学浜松キャンパス 共通講義棟 共21教室 ※会場までの地図は、P33の交通案内をご覧ください。</p> | | |
| 受 講 料 | 無料 | | |
| 定 員 | 70人 | | |
| 対 象 | 興味のある方ならどなたでも | | |
| 申込方法 | <p>メール・葉書のいずれかによりお申し込みください（先着順）。 <input type="checkbox"/>メール chiki-megumi@ml.inf.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/>葉書 〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部 地域連携推進室宛 ※氏名（ふりがな）、年齢、郵便番号、住所、電話番号、職業、講座名を明記してください。</p> | | |
| 申込期間 | 10月1日（月）～ 10月31日（水） | | |
| 問 合 せ | 静岡大学情報学部 地域連携推進室 ☎053-478-1579 | | |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 | | |

藤枝フィールドの散策と 春の雑草観察

| | |
|-------|--|
| 趣 旨 | 静岡大学農学部附属の農場である藤枝フィールドは、東京ドーム3.5個分の広い敷地があり、田んぼやミカン園、茶畑など、さまざまな環境が広がっています。そんな藤枝フィールドを散策しながら、春の野に咲く雑草を観察してみませんか。日ごろ雑草を研究テーマとする雑草学研究室のメンバーが、たくましく生きる身近な雑草の知恵を紹介します。 |
| 日 程 | 4月26日(木) 13:00~16:00 |
| 講 師 | 学術院農学領域教授 稲垣 栄洋(雑草生態学) |
| 会 場 | 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド ※会場までの地図は、P34の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 30人 ※多数抽選 |
| 対 象 | どなたでも(小学生以下は保護者同伴) |
| 申込方法 | 電話・FAX・メールのいずれかによりお申し込みください。 TEL 054-641-9500 FAX 054-644-4641 メール inagaki.hidehiro@shizuoka.ac.jp ※氏名(ふりがな)、小学生以下の児童は年齢、郵便番号、住所、電話番号、講座名を明記してください。 |
| 申込期間 | 4月3日(火) ~ 4月13日(金) |
| 問 合 せ | 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター ☎054-641-9500(センター事務室) |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

私のミカン ～ミカンの通年管理教室～

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 庭先に果樹が植えてあるけど、世話の仕方が良く分からない！これから、果樹の栽培を始めてみたい！という方を対象とした講座です。一年を通じて、一緒に楽しく作業しながら、果樹栽培の基本的な知識と技術を習得しましょう。収穫時にはミカンのプレゼントもあります。 |
| 日 程 | 5月8日(火)、7月3日(火)、9月18日(火)、11月13日(火)、3月5日(火) [全5回] 13:30～15:30 |
| 講 師 | 技術部技術専門職員 成瀬 博規(果樹) 技術部技術職員 周藤 美希(果樹) 学術院農学領域准教授 八幡 昌紀(果樹園芸学) |
| プログラム | 5/8 「着花管理」 7/3 「粗摘果」 9/18 「仕上げ摘果」 11/13 「収穫」 3/5 「整枝・剪定」 |
| 会 場 | 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド ※会場までの地図は、P34の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 10,000円 |
| 定 員 | 10人 ※多数抽選 |
| 対 象 | 一般市民 |
| 申込方法 | FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。 <input type="checkbox"/> FAX) 054-644-4641 <input type="checkbox"/> メール) nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書) 〒426-0001 藤枝市仮宿63 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、講座名を明記してください。 |
| 申込期間 | 4月6日(金)まで |
| 問 合 せ | 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター ☎054-641-9500(センター事務室) |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

紅茶作りに挑戦しよう

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | お茶には色々な種類がありますね。その種類は製造方法の違いから大きく三つに分けられます。不発酵茶、半発酵茶、発酵茶の三つです。同じチャの葉から、製造方法を変えることで、日本茶も紅茶もで作ることができるんですよ。今回は藤枝フィールドの茶畑で採れた茶葉を使って、紅茶作りを体験し、茶について学びます。 |
| 日 程 | 7月26日(木) 13:00~16:00 |
| 講 師 | 学術院農学領域教授 稲垣 栄洋(作物) 技術部技術専門職員 西川 浩二(作物) 技術部技術専門職員 成瀬 和子(作物) |
| 会 場 | 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド ※会場までの地図は、P34の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 1,000円 |
| 定 員 | 20人 ※応募者多数の場合、抽選 |
| 対 象 | 一般市民。小学生以下は保護者同伴(保護者の方も申し込みが必要)。 |
| 申込方法 | FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。 <input type="checkbox"/> FAX) 054-644-4641 <input type="checkbox"/> メール) nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書) 〒426-0001 藤枝市仮宿63 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛 ※氏名(ふりがな)、年齢(学年)、性別、郵便番号、住所、電話番号、FAX、メールアドレス、講座名を明記してください。 |
| 申込期間 | 4月2日(月) ~ 5月31日(木) |
| 問 合 せ | 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター ☎054-641-9500(センター事務室) |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

作って学ぶ、工学部の化学実験

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 地域で学ぶ中高生を対象に、現在学んでいる理科の内容が大学での学習内容にどのようにつながっているのかを理解できる場を設けます。本講座では工学部2年生が受講する化学実験の「色素の合成と染色」を通して、実験での学びを経験することにより、自身の学ぶ理科の重要性を理解することを目的とします。 |
| 日 程 | 7月26日(木) または 7月28日(土) いずれも14:00~17:00 |
| 講 師 | 工学部教授 植田 一正(材料有機化学) 技術部技術専門職員 草薙 弘樹(有機化学) |
| 会 場 | 静岡大学浜松キャンパス 工学部8号館 化学第2実験室 ※会場までの地図は、P33の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 各回20人 |
| 対 象 | 中学生・高校生(保護者同伴可) |
| 申込方法 | メールによりお申し込みください。 静岡大学工学部共通講座化学分野 植田 一正宛 ✉ ueda.kazumasa@shizuoka.ac.jp ※氏名(ふりがな)、学校名、学年、郵便番号、住所、電話番号、参加希望日を明記してください。 |
| 申込期間 | 6月25日(月) ~ 7月13日(金) |
| 問 合 せ | 静岡大学工学部共通講座化学分野 植田 一正 ✉ ueda.kazumasa@shizuoka.ac.jp |
| 共 催 | 浜松市(予定) |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

遺伝子の世界を見てみよう

| | |
|-------|--|
| 趣 旨 | 遺伝子組換え実験によく使用されるオワンクラゲの緑色蛍光タンパク質 (GFP) や、遺伝子組換え技術を用いて作製されるiPS細胞など、近年の日本人によるノーベル賞受賞により、遺伝子組換え技術やヒトゲノム等の話題が以前にも増して身近なものになっています。本講座では、自分の爪や髪の毛からDNAを抽出して観察したり、光る大腸菌を作り出すといった、遺伝子に関する簡単な実験を体験してもらうことにより、遺伝子組換え技術に関する正しい知識と考え方を身につけてもらうことを目的としています。 |
| 日 程 | 8月1日(水) 10:00~17:00 8月2日(木) 10:00~15:00 [全2回] |
| 講 師 | グリーン科学技術研究所准教授 道羅英夫(ゲノム科学) グリーン科学技術研究所特任助教 兼崎 友(微生物学) 技術部技術職員 森内 良太(生命科学) |
| プログラム | 8/1 「爪や髪の毛からDNAを抽出する」(道羅) 8/2 「光る大腸菌を観察する」(兼崎・森内) |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパス グリーン科学技術研究所遺伝子実験棟 P1実験実習室・セミナー室 ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 20人 |
| 対 象 | 県内高校生 |
| 申込方法 | FAX・メールのいずれかによりお申し込みください。 静岡大学グリーン科学技術研究所 遺伝子実験棟管理室宛 〔FAX〕 054-238-4926 〔メール〕 gene.lab@adb.shizuoka.ac.jp ※2日間とも参加できる方に限ります。参加希望者は高校を通して申し込んでください。なお、申込者は各校3名までとし、多数の場合は学校単位で抽選とさせていただきます。 |
| 申込期間 | 6月11日(月) ~ 7月6日(金) |
| 問 合 せ | 静岡大学グリーン科学技術研究所 遺伝子実験棟管理室 ☎054-238-4926 |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

体験!大学の化学実験

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 大学の専門実験実習で行われている化学実験を体験頂くことができます。「アルマイトの作成と着色」実験ではアルミニウム板の陽極酸化を行い、アルミニウム表面に多孔質の酸化アルミニウム被膜を有するアルマイトを作製します。また、この多孔質構造に金属イオンや顔料、色素などを導入し、電気化学的手法を用いたアルマイトの着色を行います。「ルミノールの合成と発光実験」では推理小説やドラマでおなじみのルミノールを合成し、合成したルミノールを用いた化学発光の実験を行います。どちらか1日だけの参加も可能です。 |
| 日 程 | 8月18日(土)、8月19日(日) [全2回] 10:00~16:00 |
| 講 師 | グリーン科学技術研究所教授 近藤 満(無機化学・金属錯体化学) 理学部講師 守谷 誠(無機化学・材料科学) |
| プログラム | 8/18「アルマイトの作成と着色」(守谷) 8/19「ルミノールの合成と発光実験」(近藤) |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパス 共通教育C棟205室北 (理学部化学科専門実験室) ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 30人 |
| 対 象 | 中学生、高校生(父兄の同伴可能)、理科教育の関係者 |
| 申込方法 | FAX・メールのいずれかによりお申し込みください(先着順)。 静岡大学グリーン科学技術研究所 研究支援室分子構造解析部宛 〔FAX〕054-238-3045 〔メール〕kondo.mitsuru@shizuoka.ac.jp ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、生年月日、受講したい講座名を明記してください。 |
| 申込期間 | 5月1日(月) ~ 7月27日(金) |
| 問 合 せ | 静岡大学グリーン科学技術研究所 研究支援室分子構造解析部 ☎054-238-4763 |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

愛おしさから読み解くくだもの多様性 ～園芸と民藝の融合～

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | くだものにはたくさんの品種があり、その一つ一つの背後に歴史や個性があります。我々はお店に売っているくだものの中から「甘い」ものを選ぶことだけしかできなくなってしまっていないでしょうか？くだもの個性を知り、それを大切に作っている人、作ってきた人の思いを知ること、これまで知らなかったくだもの世界を知り、「愛おしい」と思う気持ちを起こすことで、もっともっとくだものが好きになる。また来年、会いたくなる。そんな民藝好きのような気持ちをみんなが持つことで、生産者も消費者も幸せな気持ちになれないか考えていきます。 |
| 日 程 | 8月31日(金)、11月30日(金) [全2回] 14:00～16:30 (時間は目安) |
| 講 師 | 青パパイヤ生産者 高田 義雄 (果樹園芸学) 農学部准教授 松本 和浩 (園芸学) |
| プログラム | ①8/31 「青パパイヤ」(高田・松本) ②11/30 「リンゴ」(松本) |
| 会 場 | 健康文化交流館「来・て・こ」302活動室 ※会場までの地図は、P35の交通案内をご覧ください。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 各回50人 |
| 対 象 | くだもの栽培、利用、消費に興味があり多様な遺伝資源を使って地域を活性化したい、あるいはコミュニケーションを活性化したいと考えている市民、学生、生産者、企業人など |
| 申 込 先 | 電話によりお申し込みください(先着順)。 健康文化交流館「来・て・こ」宛 (TEL) 054-202-4300 (日曜を除く9:00～21:00) ※各講座ごとに募集します。 ※氏名(ふりがな)、住所(県・市まで)、電話番号、メールアドレス(あれば)、あれば所属をお知らせください。 |
| 申込期間 | ①7月2日(月)～、②10月1日(月)～ |
| 問 合 せ | 健康文化交流館「来・て・こ」 ☎054-202-4300 http://sgc.shizuokacity.jp/lc/detail.asp?lclid=10 (健康文化交流館「来・て・こ」) https://www.facebook.com/laboratory.of.horticultural.Innovation/ (松本和浩研究室) |
| 共 催 | 静岡市駿河生涯学習センター |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

静岡大学キャンパスミュージアム 公開講座 2018

| | |
|-------|--|
| 趣 旨 | 静岡大学の静岡キャンパスは有度山西麓のユニークな環境に立地し、豊かな自然と歴史遺産がいたるところにあります。静岡大学キャンパスミュージアムでは、こうしたキャンパス資源を教育や地域との連携に生かすことを視野に、生物調査などを実施してきました。講座では、本学の教員等を講師として、キャンパスの自然と歴史遺産を現地で観察しながら調査研究の成果を紹介します。なお、雨天時はキャンパスミュージアム内でスライドや標本の観察をおこないながら実施します。 |
| 日 程 | 10月6日(土)、10月13日(土)、10月20日(土)、10月27日(土) 11月3日(土) [全5回] 10:00~12:00 |
| 講 師 | ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授 岸本 年郎(昆虫分類学) 理学部准教授 徳岡 徹(環境応答学) 理学部准教授 石橋 秀巳(地球科学) 人文社会科学部教授 篠原 和大(考古学) 技術部技術長 宮澤 俊義(生物学・放射線学) |
| プログラム | 10/6 「身近な足もとの虫たち～土壌動物～」(岸本) 10/13 「大学構内の植物探訪」(徳岡) 10/20 「富士山のマグマ学」(石橋) 10/27 「静岡大学と静岡県の遺跡—静大考古学の60年—」(篠原) 11/3 「緩歩動物クマムシの観察」(宮澤) |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパス内 ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。 詳細は受講者にお知らせします。 |
| 受 講 料 | 無料 |
| 定 員 | 15人 |
| 対 象 | 一般市民、学生、小中高生(中学生以下は保護者同伴) |
| 申込方法 | FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX 054-238-4312 <input type="checkbox"/> メール su-museum@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学学術情報部研究協力課宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。 |
| 申込期間 | 8月1日(水)～9月14日(金) |
| 問 合 せ | 静岡大学学術情報部研究協力課 ☎054-238-4316 |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

安心登山・アウトドア活動のための 読図とナビゲーションスキル(初級編)

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 第三次登山ブームと呼ばれる中、軽微な遭難が増え、とりわけ道迷い遭難の比率が高くなっています。安全で確実な登山やアウトドア活動のために地図読みを学びたい登山者を対象に、基礎的な読図の方法やコンパスの利用の仕方を学びます。移動中の読図はもちろん、地図を登山前のリスク管理にどう役立たせるかなど、実践的なテーマをカバーしています。 |
| 日 程 | 5月19日(土) 9:30~16:30 |
| 講 師 | 教育学部教授 村越 真(野外活動) プロアドベンチャーレーサー 宮内 佐季子(野外活動) |
| 会 場 | 静岡大学静岡キャンパスおよび屋外 ※詳細は受講者にお知らせします。 |
| 受 講 料 | 3,000円 |
| 定 員 | 25人 |
| 対 象 | 登山・アウトドア活動を行う一般市民 |
| 申込方法 | FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="text" value="FAX"/> 054-237-6347 <input type="text" value="メール"/> kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="text" value="葉書"/> 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、講座名、大学までの交通手段を明記してください。 |
| 申込期間 | 4月1日(日) ~ 4月30日(月) まで |
| 問 合 せ | 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422 |
| 共 催 | 特定非営利法人M-nop |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

安心登山・アウトドア活動のための 読図とナビゲーションスキル(中級編)

| | |
|-------|---|
| 趣 旨 | 第三次登山ブームと呼ばれる中、軽微な遭難、とりわけ道迷い遭難が増えています。本講習では、地形図について基礎知識があり、6-7km程度を歩き通せる登山者を対象に、実践的な技術を伝授します。静岡市郊外の山道で実施します。目的地までは往路はバス移動（費用は受講料に含む）、帰りの交通費については各自負担（数百円程度）となります。 |
| 日 程 | 10月7日（日） 9:30～16:30 |
| 講 師 | 教育学部教授 村越 真（野外活動） オリエンテーリング日本代表選手 小泉 成行（野外活動） |
| 会 場 | 屋外（静岡市郊外） ※詳細は受講者にお知らせします。 |
| 受 講 料 | 3,600円 |
| 定 員 | 20人 |
| 対 象 | 過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある登山経験者で6-7km程度を無理なく歩ける方 |
| 申込方法 | FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください（先着順）。 <input type="text" value="FAX"/> 054-237-6347 <input type="text" value="メール"/> kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="text" value="葉書"/> 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名（ふりがな）、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号（できるだけ携帯電話）、講座名、大学までの交通手段を明記してください。 |
| 申込期間 | 7月30日（月）～ 9月17日（月）まで |
| 問 合 せ | 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422 |
| 共 催 | 特定非営利法人M-nop |
| 後 援 | 静岡県教育委員会 |

その他の 大学開放事業

静岡大学では、公開講座以外にも、それぞれの学部などで市民向けのさまざまな催しをおこなっています。ここではその一部を紹介します。

サイエンスカフェ in 静岡

■サイエンスカフェとは？

「サイエンスカフェ in 静岡」は、主に本学理学部の研究者を講師に迎え、最先端のサイエンスの話を聴きながらコーヒーを楽しむカフェとして、2006年12月にオープンしました。中高生から熟年の方々まで幅広い世代に、身近な興味ある話題から普段触れることのない最先端科学まで、多くの話題を取りあげること、科学に対する興味や新しい視点を提示することができれば幸いと思い取り組んでいます。

くつろいだ雰囲気の中で、最先端の科学の話題に耳を傾けていただければと思います。コーヒーとお菓子を用意してお待ちしております。

■定員 150人(先着順) ※事前申込不要

■受講料 無料

■会場 B-nest静岡市産学交流センター(ペガサート6階)

プレゼンテーションルーム

■お問い合わせ

サイエンスカフェ 9代目店長 大吉 崇文(理学部 化学科)

TEL: 054-238-4760

Email: sci-cafe@suml.cii.shizuoka.ac.jp

■サイエンスカフェ in 静岡の情報

ホームページ: <http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/>

メルマガの登録: 情報を知りたい方は、

sci-cafe@suml.cii.shizuoka.ac.jp

まで、お名前とメールアドレスをお知らせください。

静大テレビジョン: <http://sutv.shizuoka.ac.jp/subchannel/173>

(過去の講演の動画がみれます)

■主催 理学部

第26シーズン(2018年3月から)開催スケジュール

| | | | |
|--|--------------|----------------------------------|----------------------|
| 123 | 3月29日 (木) | 人類の健康と福祉に貢献する 分子科学 | 工学部化学バイオ工学科 鳴海 哲夫 |
| 我々は自分でデザインした有機分子を自分の手で合成し、人類の健康と福祉に分子のチカラで貢献することを目指しています。本講演では、我々が近年研究を進める医薬品開発を加速する分子について紹介します。 | | | |
| 124 | 4月26日 (木) | 分子のかたちと集合 ：分子から超分子へ | 理学部化学科 小林 健二 |
| 生命は様々な分子の集合体です。分子は、2次元・3次元的なかたちをもって個性を発揮し、弱い力で集まると新たな性質を発現します。今回、分子がかたちをつくる仕組み、集合する仕組み、超分子について紹介します。 | | | |
| 125 | 5月31日 (木) | 小惑星衝突による破壊と創造 (ガス銃を用いた衝突模擬実験) | 理学部物理学科 三重野 哲 |
| 太陽系の長い歴史では、小惑星衝突が頻繁に起き、惑星が変化してきました。地球や惑星への衝突が破壊を起こしました。一方、物質を生み出す反応も起きています。今回、タイタン(土星の衛星)への衝突の模擬実験と有機分子合成について紹介します。 | | | |
| 126 | 6月28日 (木) | 論理の理論、理論の論理 | 理学部数学科 鈴木 信行 |
| 数理論理学(数学的論理学)の考え方を、思い切って簡略化してご紹介しましょう。その雰囲気だけでもお伝えできれば嬉しいです。巷間に名高いゲーデルの不完全性定理についても、内容とアイデアの一端に触れたいと思います。 | | | |
| 127 | 7月26日 (木) | 環境が遺伝子の働き方を変える | 理学部生物科学科 山内 清志 |
| 2003年ヒトゲノム計画が完了し、これでヒトの病気の原因はすべて解明されると大きな期待が寄せられました。しかし、そこで明らかとなってきたものは、ゲノムだけでは説明できない生物の持つ可塑性でした。遺伝子の働き方に環境がどのように影響を与えるかについて紹介します。 | | | |

浜松 RAIN 房

ものづくり理科地域支援ネットワーク

■浜松RAIN房とは？

地域ぐるみで「ものづくり・理科教育」を支援していくネットワークです。静岡大学工学部を中心に、市、浜松商工会議所、地元企業、市民グループなどとの連携を広げ、このネットワークで地域のイベントや講座などへの支援を行っていきます。

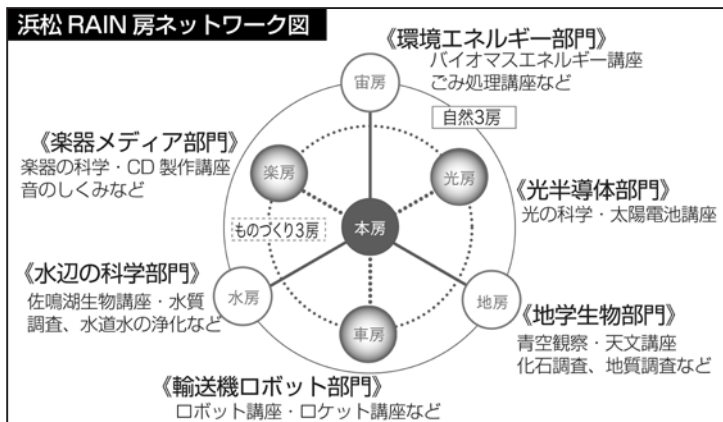
■浜松RAIN房のネットワーク

ものづくり3房（車房・楽房・光房）、自然3房（水房・地房・宙房）と本房の7つの房で構成されます（下図参照）。名称は、虹色の7色にかけて『レインボウ』としています（房＝クラスター：ネットワークのグループ）。RAIN房の『RAIN』は、RAIN=RApport between Industry & Nature（産業と自然との協調関係）をあらわしています。

■どんなことをするの？

浜松RAIN房では、ネットワークに連携する団体の情報を集約・発信するとともに、各地域でのイベント（ものづくり講座や理科実験）に教材の提供や講師の派遣などを行い、理科教育を身近に感じていただく活動を展開していきます。浜松RAIN房のホームページには、この地域で行われるものづくり・理科教室等の情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

浜松RAIN房ホームページ <http://train1.eng.shizuoka.ac.jp>



■お問い合わせ

浜松RAIN房

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部内

☎053-478-1759/FAX053-478-1759

E-mail : trainbow@shizuoka.ac.jp

<http://train1.eng.shizuoka.ac.jp/>

哲学カフェ@しずおか

生きていくなかで、他の人や物事との出会いを通して、私たちは多くの問いの前に立たされます。それらの問いを共有し、討議を通して共に掘り下げる場、それが哲学カフェです。

異なった見方や考え方にふれ、そこからさらに問いを深めていきましょう。

■開催日時

4月21日、6月16日、8月18日、10月20日、12月15日、
2019年2月16日

いずれも土曜日 15:00～18:00 (受付14:30)

■お問い合わせ E-mail : philocafe.shizuoka@gmail.com

事前の申込みは不要です。当日お気軽にお越しください。

■詳細はFacebook (哲学カフェ@しずおかで検索) をご覧ください。

死生学カフェ

死生学カフェは、生きること、死にゆくこと、かけがえのないものを失うことなど、生と死にかかわる多様な課題について出会いと探究の姿勢を大切にしながら、対話を試みる場です。

■開催日時

5月19日、7月21日、9月15日、11月17日、2019年1月19日、
3月16日

いずれも土曜日 15:00～18:00 (受付14:30)

■お問い合わせ E-mail : shiseigakucafe@gmail.com

事前の申込みは不要です。当日お気軽にお越しください。

■詳細はFacebook (死生学カフェで検索) をご覧ください。

哲学カフェ・死生学カフェともに

■参加費 一般1,000円/学生500円 (フリードリンク、お菓子付)

■会場 スノドカフェ七間町 (静岡市葵区七間町7-8 054-260-6173)

グリーンサイエンスカフェ 【全4回(予定)】

■グリーンサイエンスカフェとは？

平成25年に発足した「グリーン科学技術研究所」の教員が、研究者の夢や失敗談、ときには笑いを交えて個々の研究を紹介します。今回は、地元の高校生が展開しているユニークな研究紹介の場を設けます。

気楽に科学の話題に耳を傾けてみませんか？

■会 場

(静岡開催) B-nest静岡市産学交流センター

(浜松開催) 未定

■開催スケジュール

(静岡)

奇数月開催 (1)～(3) : 19:00～20:30

(4) : 10:00～16:00

(1) 5月11日(金) 講師：成川 礼(グリーンバイオ研究部門)

(2) 7月13日(金) 講師：ベアトリス カサレト(グリーンバイオ研究部門)

(3) 9月14日(金) 講師：道羅 英夫(研究支援室)

(4※) 11月17日(土) 講師：近藤 満(グリーンケミストリー研究部門)

11月18日(日) 講師：平井 浩文(グリーンエネルギー研究部門)

※11月のグリーンサイエンスカフェは、静大祭・キャンパスフェスタの企画として、静岡大学(静岡キャンパス)にて開催予定です。

(浜松)

未定

○講話の内容等、詳細については決定次第、下記のウェブサイトにてお知らせします。

<http://www.green.shizuoka.ac.jp/>

■受講料 無料

■定 員 40名(先着順) ※事前申込不要

■お問い合わせ

静岡大学 学術情報部 研究協力課

TEL : 054-238-4264 E-mail : kenkyu2@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学・読売新聞 連続市民講座【全5回(予定)】

- 開催時期 2018年6月～10月
- 対象 一般市民
- 受講料 無料
- 会場 あざれあ（静岡県男女共同参画センター）

静岡大学・中日新聞連携講座 【全5回(予定)】

- 開催時期(予定) 2018年10月～2019年2月
- 対象 一般市民
- 受講料 無料
- 会場 静岡大学 浜松キャンパス

○開催日時、テーマについては決定次第、下記のウェブサイトにてお知らせします。

<http://www.lc.shizuoka.ac.jp/index.html>

■お問い合わせ

地域創造教育センター 地域人材育成・プロジェクト部門

☎054-238-4817 E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

市民開放授業

■市民開放授業とは

静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。生涯学習の要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としています。

■市民開放授業の特徴

- 高等教育レベルの高度で体系的、先進的な内容を受講することができます。
- 大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としています。ただし、高等学校などの卒業証明書の提出は必要ありません。
- 大学の正規の授業科目を受講していただけますが、単位の認定は行いません。したがって、単位認定試験は行いません。また、修了証明書等の発行も行いません。

■市民開放授業のメリット

- 静岡大学の正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流をもちながら、学ぶことができます。
- 構内の生協(食堂・書店など)や附属図書館を利用することができます。また、一時保育施設を利用することもできます(有料、静岡キャンパスのみ)。

■受講の方法

3月下旬(前学期分)、9月下旬(後学期分)に静岡と浜松で事前説明会を行っています。詳しくはお問い合わせください。

■受講料 一科目9,500円 [半期14回]

■お問い合わせ・資料請求

地域創造教育センター 市民開放授業係

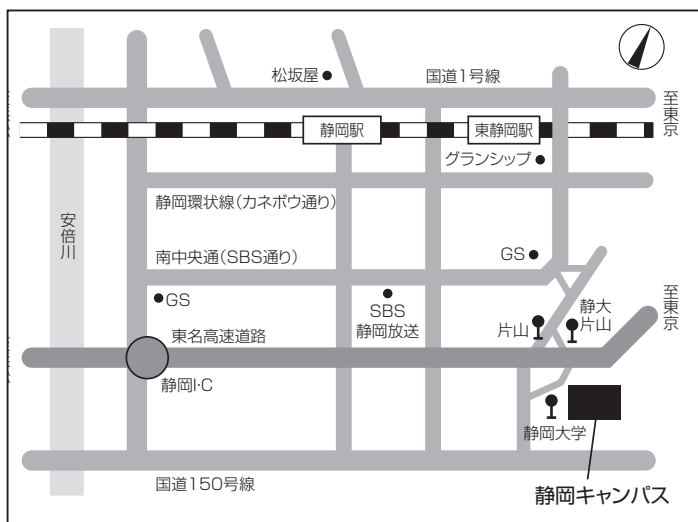
☎054-238-4817

E-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

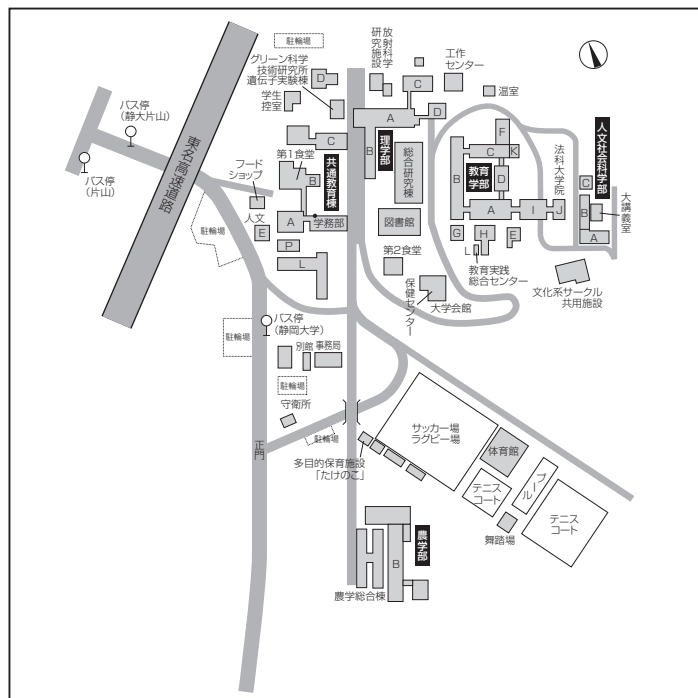
各会場への アクセス

■静岡大学静岡キャンパス

所在地：静岡市駿河区大谷836

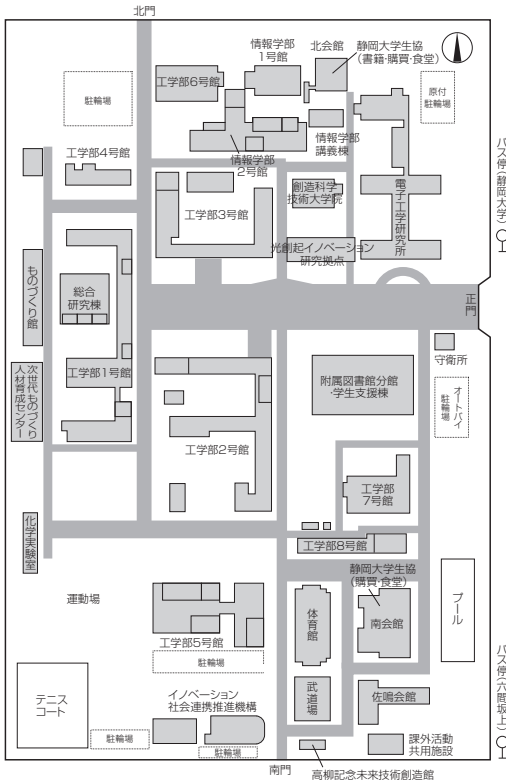
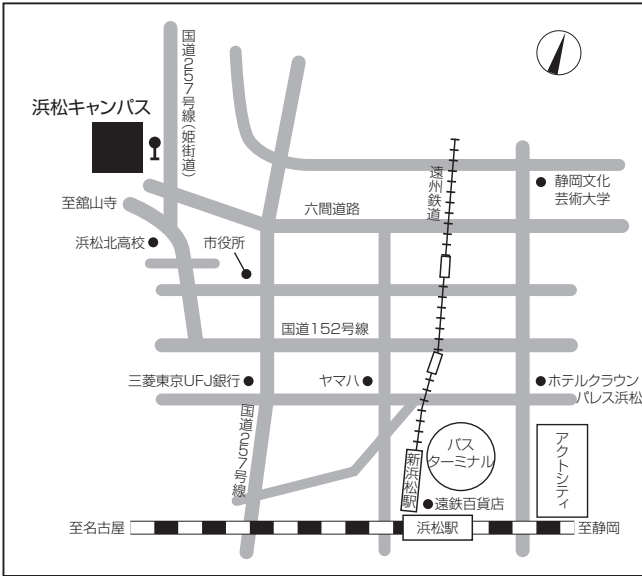


1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス19番乗り場から、「静岡大学」または「大谷」行きに乗車し、「静大前」または「片山」（午前中のみ）バス停車（所要時間約25分、1時間に5～7本運行）。※「片山」バス停は午前中のみ停車です。ご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。



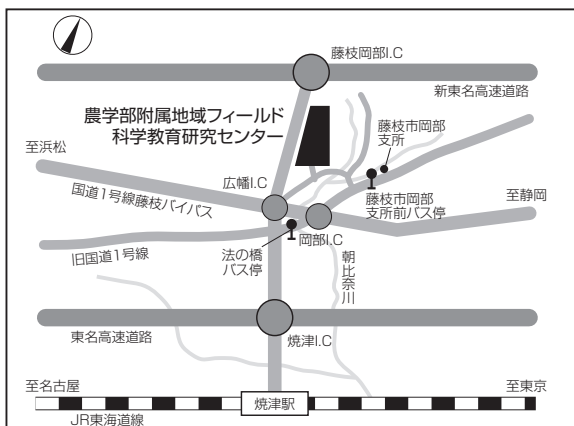
■静岡大学浜松キャンパス

所在地：浜松市中区城北3-5-1



1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停下車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。

■静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

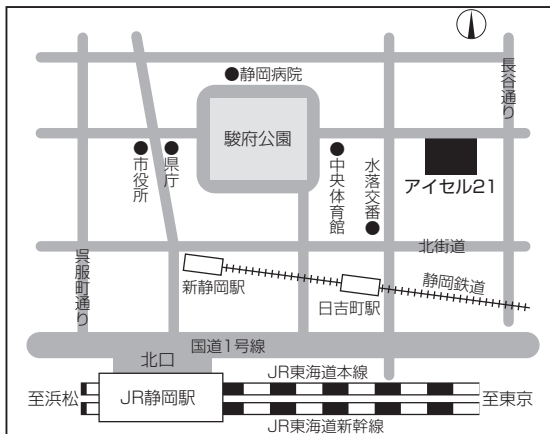


所在地：
藤枝市仮宿63

交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス4番乗り場から、「藤枝駅前行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約40分）。
2. JR藤枝駅しずてつジャストラインバス2番乗り場から「新静岡行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約20分）。
3. JR焼津駅からタクシーで約15分。
4. 東名高速道路焼津インターより車で約10分、国道1号線藤枝バイパス広幡インターより車で約5分。

■アイセル21（静岡市葵生涯学習センター）

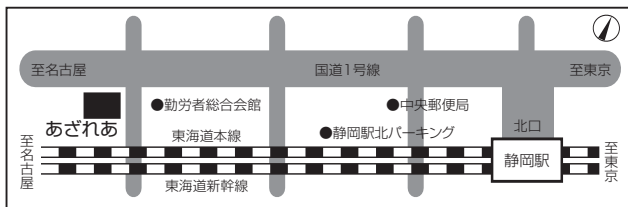


所在地：
静岡市葵区東草深町
3-18

交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「県立総合病院行き」（県立病院高松線）に乗車し、「アイセル21」バス停下車。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「駿府浪漫バス」に乗車し、「中央公民館前」バス停下車。
3. JR静岡駅北口より徒歩30分。
4. 静鉄新静岡駅より徒歩20分。
5. 静鉄日吉町駅より徒歩15分。

■あざれあ（静岡県男女共同参画センター）



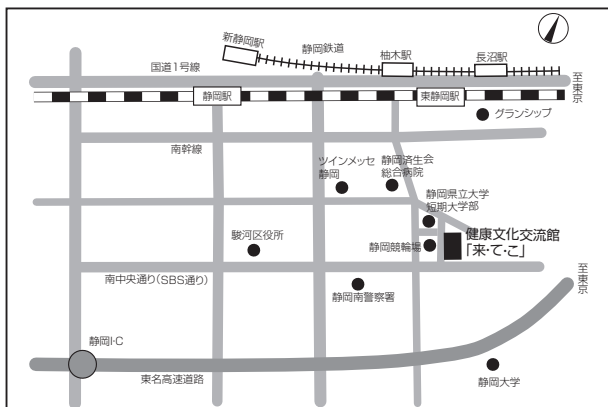
所在地：
静岡市駿河区
馬淵1-17-1

交通案内

1. JR静岡駅北口より徒歩9分。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストライン2番乗り場から、「丸子営業所行き」（丸子清閑町線）に乗車し、「西門町」バス停下車徒歩1分。
3. JR静岡駅北口しずてつジャストライン1番乗り場から、「大浜行き」（大浜麻機線）または2番乗り場から、「徳洲会病院行き」（中原池ヶ谷線）に乗車し、「商工会議所前」バス停下車徒歩4分。
4. JR静岡駅北口しずてつジャストライン3番乗り場から、藁科線に乗車し、「宝台院」バス停下車徒歩2分。

■健康文化交流館「来・て・こ」

所在地：静岡市駿河区小鹿2-25-45



交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス8B番乗り場から、「静岡大学」「東大谷」「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き（美和大谷線）に乗車し、「競輪場入口」バス停下車。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス11乗り場から、「小鹿営業所行き」（小鹿線）に乗車し、「小鹿営業所」バス停下車。
3. JR静岡駅南口しずてつジャストラインバス21乗り場から、みなみ線（内回り、外回り）に乗車し、「小鹿営業所」バス停下車。



発 行

静岡大学地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

☎054-238-4817 FAX054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

URL: <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/>

パンフレットに掲載されている情報は2018年2月現在のものです。

都合により、内容が変更される場合がありますので事前にご確認ください。